

③	②	①
イルカは からだが 小さくて、 はが あります。 クジラは からだが 大きくて、 はが ありません。	ウ	うみ

「かいせつ」

文しょうの つぎの ばしょに かかれて います。

きみは、イルカと クジラの ちがいを しつて いますか。① どちらも うみに すんで いる 大きな どうぶつです。

じつは、② イルカと クジラは おなじ なかまの どうぶつです。二つの ちがいは、からだの 大きさと、口の 中にはが あるか ないかです。

③ イルカは、からだが 小さくて、口の 中にはが あります。クジラは、からだが 大きくて、口の 中にはが ありません。

③	②	①
みんなの こえの きこえる ほうへ はしり出しました	ウ	イ

「かいせつ」

文しょうの つぎの ばしょに かかれて います。

みちに まよって おかあさんと はぐれた 子ぐまの くうたは、お月さまに ききました。

「お月さま、おかあさんは どこに いるの。」

くうたは 目を まっかに して いいました。

「⁽¹⁾ おかあさんに あいたいよ。」

くうたの 目から なみだが おちた ときで した。とおくから くうたを よぶ こえが き

こえます。⁽²⁾ おかあさんに、おにいさん、となり

に すんで いる しかの おじさんの こえま

で きこえます。みんな 大きな こえで くう

たを さがして います。

くうたは ⁽³⁾ こえの きこえる ほうへ はしり

出しました。

(4)	(3)	(2)	(1)
クジラ	イルカ	おなじ なかま	うみ

「かいせつ」

文しょうの つぎの ばしょに かかれて います。

きみは、イルカと クジラの ちがいを しつて いますか。(1) どちらも うみに すんで いる 大きな どうぶつです。

じつは、(2) イルカと クジラは おなじ なかまの どうぶつです。二つの ちがいは、からだの 大きさと、口の 中には あるか ないかです。

(3) イルカは、からだ(4) が 小さくて、口の 中には あります。クジラは、からだ(4) が 大きくて、口の 中には ありません。

③	②	①
さがして います 大きな こえ で くうたを	なみだ	ウ

「かいせつ」

文しょうの つぎの ばしょに かかれて います。

①

みちに まよって おかあさんと はぐれた 子ぐまの くうたは、お月さまに ききました。

「お月さま、おかあさんは どこに いるの。」

くうたは 目を まっかに して いいました。
「おかあさんに あいたいよ。」

②

くうたの 目から なみだが おちた ときで した。 とおくから くうたを よぶ こえが き

③

こえます。 おかあさんに、おにいさん、となり

に すんで いる しかの おじさんの こえま で きこえます。みんな 大きな こえで くう たを さがして います。

くうたは こえの きこえる ほうへ はしり 出しました。



③	②	①
ウ	きれいな	ぼくの
	かが	け
	とが	し
	いて	ゴム
	しかくい	
	かたち	

「かいせつ」

① この しは なにに ついて かかれて いるか かんがえよう。

② と ③ は、しの つぎの ばしょに かかれています。

おかあさんに あたらしい けしゴムを一つ かって もらいました。

まっ白で ぴかぴかの けしゴムです。

② かどが とがって いて

きれいな しかくい かたちです。

ぼくの すきな いい においが します。

③ ぼくは なるべく

これを つかいたく ありません。

だって、まちがえた ところを けすと

ノートは きれいに なるけれど、

けしゴムは ぐろく なるからです。

ぼくは まちがえないように

気をつけます。



(3)	(2)	(1)
ウ	イ	まっ白で ぴかぴかの けしゴム

「かいせつ」

しの つぎの ばしょに かかれて います。

(1) おかあさんに あたらしい けしゴムを
一つ かって もらいました。

まっ白で ぴかぴかの けしゴムです。
(2) かどが とがって いて

きれいな しかくい かたちです。

ぼくの すきな いい においが します。

ぼくは なるべく

これをつかいたく ありません。

だって、 (3) まちがえた ところを けすと

ノートは きれいに なるけれど、

けしゴムは ぐろく なるからです。

ぼくは まちがえないように

気をつけます。